

HyperFlexサーバを通常のUCSサーバとして転用

内容

[はじめに](#)

[HyperFlexサーバを通常のFIマネージドUCSサーバまたはスタンドアロンUCSサーバとして転用するオプションは、次のうちどれか？](#)

[ドライブ](#)

[製品IDまたはPID](#)

[M6特性](#)

[UCSM管理対象サーバの場合](#)

[スタンドアロンサーバ \(HXエッジまたはすでにスタンドアロンに変換済み\)](#)

[サポート](#)

[Intersight ManagementおよびIntersight Managed Mode](#)

はじめに

このドキュメントでは、HyperFlexプラットフォームから離れる場合に、HyperFlexサーバを別の目的で再利用するためのオプションについて説明します。これは、標準のHyperFlex(HX)クラスター、ストレッチクラスター、およびエッジクラスター内のUnified Computing System(UCS)ノードに適用されます。

HyperFlexサーバを通常のFIマネージドUCSサーバまたはスタンドアロンUCSサーバとして転用するオプションは、次のうちどれか？

HyperFlexサーバを通常のUCSサーバとして使用する場合は、次の点に注意してください。

ドライブ

HyperFlexでは、ストレージコントローラの仮想マシン(VM)が、パススルーモードでのディスクと冗長性の処理を行います。HXノードには、シリアル接続SCSI(SAS)ホストバスアダプタ(HBA)ディスクコントローラが付属しています。つまり、ディスクはJust a Bunch of Disks(JBOD)としてオペレーティングシステムに提供され、ディスクの冗長性はOSレベルで処理する必要があります。

HyperFlexノードには複数のタイプのドライブがインストールされているため、ユースケースとブート順序に関してはこの点に注意してください。

- ハウスキーピング
- 容量
- Cache
- ブート/システム (M4のSDカード、M5およびM6のM.2 SSD)

製品IDまたはPID

M4とM5 HyperFlexノードは異なるPIDを持つため、サーバを使用する予定の製品の互換性マトリックスにPIDが表示されない場合があります。一般に、これらのサーバは、同じ世代とタイプのUnified Computing System(UCS)に相当します。

一部の製品では、完全にサポートされるためには、特定の認定ホストバスアダプタ(HBA)とドライバが必要です。

M6特性

M6ベースのHXサーバの転用を検討する前に、アカウントマネージャとの相談を検討してください。これらのノードをNutanixソリューションでハイパーコンバージドシスココンピューティングに変換するオプションが存在する可能性があるためです。

M6サーバをHyperFlexサーバとして使用すると、サーバパーソナリティが設定されます。M4サーバとM5サーバに異なるPIDは付属していません。

パーソナリティをリセットまたはクリアするには、上記の手順を使用できます。

UCSM管理対象サーバの場合

1. UCS Manager(UCSM)IPへのセキュアシェル(SSH)
2. 特定のサーバにアクセスします。

```
UCS-A# scope server <server-num>
```

3. パーソナリティにアクセスします。デフォルトでは、この設定はHXサーバに対して1です。

```
UCS-A/server # scope personality 1
```

4. 必要に応じて、現在設定されているパーソナリティを確認します。

```
UCS-A/server/personality # show
```

5. パーソナリティをクリアします。

```
UCS-A/server/personality # clear personality
```

6. 変更を確定して保存します。

```
UCS-A /org/service-profile* # commit-buffer
```

スタンドアロンサーバ (HXエッジまたはすでにスタンドアロンに変換済み)

1. Cisco Integrated Management Controller(CIMC)IPへのSSH
2. Scope Chassis (スコープシャーシ) 。

```
C240-M6-01-CIMC# scope chassis
```

3. パーソナリティをクリアします。

```
C240-M6-01-CIMC /chassis # clear-personality ?  
<Personality Name> Name of personality to delete. Leave Empty if all personalities needs to be de
```

サポート

UCSハードウェアは、保証または契約の下でもサポートされます。

M4ベースのHXノードは、2024年3月12日にサポート終了となりました。

Intersight Managementおよび Intersight 管理モード

HyperFlex M6サーバは、前述のようにHXの特性をクリアすれば、Intersightマネージドモード (IMM)での使用や、さらなる制限を受けずにスタンドアロンのIntersightマネージドサーバとしての使用に転用できます。

HyperFlex M5-Serverは、IMMでの使用に転用できませんが、スタンドアロンのIntersight管理対象サーバとして使用できます。ファームウェアのアップグレードやOSのインストールなど、HX PIDを持つサーバのIntersightからブロックされる特定の操作があります。ただし、これらの操作はCIMCから直接実行できます。

詳細については、[Cisco HyperFlexサポート終了FAQ](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。